

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104080	特別支援事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		66,281	69,617		3,336
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	57,700	63,015		5,315
	一般財源	8,581	6,602		-1,979

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

特別支援体制の充実

事業開始の背景・経緯

学校では対応しきれない不登校や問題を抱える児童生徒及び発達障害のある児童生徒への対応を支援し、すべての児童生徒が生き生きとした学校生活が送れるよう、この事業を開始した。

事業概要

ふれあい共育推進 36,542千円
 特別な支援が必要な児童生徒に対し支援を行うふれあい共育推進員を配置 小学校16校・中学校11校へ47人配置
 特別支援体制の推進 1,276千円
 障がいのある児童生徒への教育支援体制の推進
 学校適応支援 21,579千円
 問題を抱える児童生徒及び保護者への教育相談や、特別な支援が必要な児童生徒に関する巡回指導等のため、教育相談員（5人）、スクールソーシャルワーカー（2人）及び生徒支援員（6人）を配置
 ことばの教室巡回指導 10,220千円
 「ことばの教室」での指導を必要とする児童に対する巡回指導のため、ことばの教室巡回指導員（4人）を配置

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	佐々木 健一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

特別な支援が必要な児童生徒の増加及び不登校傾向にある児童生徒の抱える悩みの複雑化などから、この事業の継続・発展要望が学校等から多く出されている。

事業手法の詳細 1

特別支援事業 69,617千円

特別支援・・・特別な支援が必要な児童生徒 ふれあい共育推進員 各学校で直接、特別な支援が必要な児童生徒に対し、学習と生活を支援	不適応支援・・・不登校児童生徒 スクールソーシャルワーカー ・生徒支援員 各学校で直接、不登校児童生徒及び家庭への支援・指導
教育相談員	巡回教育相談 適応指導教室（風の子ひろば）

- ふれあい共育推進 36,541,638円
 特別な支援が必要な児童生徒に対し支援を行うふれあい共育推進員を配置 小学校16校・中学校11校へ47人配置
- 特別支援体制の推進 1,276,055円
 障がいのある児童生徒への教育支援体制の推進
- 学校適応支援 21,579,373円
 問題を抱える児童生徒及び保護者への教育相談や、特別な支援が必要な児童生徒に関する巡回指導等のため、教育相談員（5人）、スクールソーシャルワーカー（2人）及び生徒支援員（6人）を配置
- ことばの教室巡回指導 10,220,149円
 「ことばの教室」での指導を必要とする児童に対する巡回指導のため、ことばの教室巡回指導員（4人）を配置

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104080	特別支援事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3